

# トトモニ

しおじり協働通信  
平成29年度

ご自由にお持ちください

アイギ

3号  
2018

しおじり協働通信トトモニ 平成29年度 第3号 (3月発行)

TAKE FREE

## 特集「あの人とともに」

宮下地区お助け隊

## 小川博國さん

これが俺らの生き甲斐づくり！  
「助け合い」に見出すセカンドライフの形

あなたのチャレンジを応援します！

● 塩尻市まちづくりチャレンジ事業 補助金

## 市民のみなさんへ お知らせ

### 塩尻市 まちづくりチャレンジ事業 補助金

あなたのチャレンジを応援します！塩尻のまちをもっと住みよく、楽しくするための（公益）活動に対して、塩尻市では補助金を交付します。平成30年度の募集受付期間は一次募集が4月1日(日)から4月14日(土)まで。二次募集(トライアルのみ)が9月1日(土)から9月14日(金)まで！塩尻を元気にする素敵な活動の参加をお待ちしています！

○●◇◆□■ 選べる“チャレンジのカタチ” ■□◆◇●○

<b>体験型 トライアル事業</b> 	<p>「何か始めてみよう」という団体の皆さんに、まちづくりへの参加のきっかけを得てもらうための事業です。事業の実施を通して、活動をしていくためのネットワークづくりを行うとともに、市民の皆さんに身近な課題を提案し、共有を図ります。</p>	<b>発展型 ステップアップ事業</b> 	<p>「得意分野を生かし、新たなまちづくりの担い手を目指そう」という、団体の自立や新たな事業の確立を目指すための事業です。計画的に事業展開を行いながら、3年の間に段階的にステップアップを図ります。</p>
---	--	---	--

事業	体験型：トライアル事業	発展型：ステップアップ事業		
		1年目	2年目	3年目
達成目標	ネットワークづくり、身近な課題の共有や提案	団体設立のための環境整備、事業の実施	団体の発展のための環境整備、事業の発展	協働事業(公共を担う事業)実施に向けた事業展開
補助限度額	10万円	20万円	20万円	40万円
対象経費の補助率	10/10以内	9/10以内	8/10以内	7/10以内
応募受付	年2回【4月・9月】	年1回【4月】		
採択基準	○目的が明確か ○公益性があるか	○目的が明確か ○公益性があるか ○自立しているか、あるいは自立を目指しているか		
研修・交流会等への参加(必修事項)	◆ 団体のスキルアップのための研修会への参加(「協働とは」、「団体運営の課題解決」など) ◆ 活動の成果を広く知ってもらうための交流会などへの参加 … ● まちづくり交流会 ● 中間報告 ● 実績報告会			
補助対象外	◆ 社会や、地域のどのような問題を解決するための活動なのかが不明確なもの ◆ 公益性がない活動・事業…趣味やサークルの活動、個人や団体の利益のための活動、参加者が少人数に限定される活動、宗教・政治活動を目的とした活動 ◆ 自立を目指さない団体・事業…会則を定めていないもの、会費を徴収していないもの、財政計画がきちんとしていないもの、食糧費・通常の事務費・備品の比率が補助対象経費全体の6割以上のもの			

※本制度は、塩尻市補助金等交付規則および塩尻市まちづくりチャレンジ事業補助金交付要綱に基づいて実施しています。

◀ 市民公益活動に関する掲載記事やお知らせを募集しています！詳しくは、えんのわまで！

本誌に関する  
お問合せ先

発行 塩尻市市民交流センター 交流支援課  
〒399-0736 塩尻市大門一番町12-2 TEL:0263-53-3350(内線4221)  
E-mail:collabo@city.shiojiri.lg.jp http://enpark.info/

編集 特定非営利活動法人 えんのわ  
〒399-0736 塩尻市大門一番町12-2 TEL/FAX:0263-54-3320  
E-mail:ennowa@hotmail.co.jp

# これが俺らの生き甲斐づくり！ 「助け合い」に見出すセカンドライフの形 宮下地区お助け隊

木曾平沢宮下町会の住民有志が、遊歩道の整備に取り組んでいる。約20名が参加する「宮下地区お助け隊」は、平成27年4月に活動を始め高齢者宅を中心に無償で町内の困りごとの対応に当たっている。旗振り役は宮下町会長を務める小川博國さんだ。お助け隊は現在、宮下地区に2kmに及ぶウォーキング専用の遊歩道の整備を、塩尻市まちづくりチャレンジ事業の助成を受けながら進めている。



取材に訪れたこの日、春分の日の大雪の影響で小川さんとお助け隊のメンバーは地区の雪かきに追われる中、「自分で雪かきの

できないお年寄り宅等の雪かきがあつてね」と言いながら応じてくれた。お助け隊の始まりは、小川さんに寄せられたひとつの相談だったという。「家の壁が壊れているので何とかして欲しいと頼まれて直したのがキッカケ。そ



れから暇のある仲間が集まって、時間を合わせて何かするようになった」。お助け隊のメンバーはほとんどが65歳以上と高齢で小川さん自身も77歳だが、年齢に負けない活発な活動を行っている。庭木の剪定はもちろん、大工職人等の経験をもつメンバーがおり、自前の重機を持ち出して道路整備までやってしまうそうだ。小川さんは、「定年後の生き甲



斐づくりになっている。昼間から酒を飲んで暇を潰すくらいなら、みんなで庭木の手入れのひとつでもやるんじゃないかとね」と笑顔で話してくれた。

遊歩道に着手したのは昨年の夏頃の事だった。小川さんはお助け隊で約1年間、地区内30軒ほどの依頼に応えた。すると、「もう



事務局 河西 光人さん 代表 小川 博國さん

やるのが無くなってしまったね(笑)、散歩コースになっていた雑木林を遊歩道として整備したら面白いんじゃないかって話になったんだよ」と振り返る。花木の購入等の資金が必要な事から今回の助成金を受ける事になり、現在事務局を務める河西光人さんの協力を得ながら申請をした。



河西さんは「活動は面白いですよ。ただ遊歩道の整備を始めると雑木や岩がごろごろしていて、えらいことを始めてしまったと思いましたね」と苦笑いだ。

遊歩道の整備は始まったばかり。小川さんは「あと何年で出来るかね。自分が生きているうちに、やりきりたいね」と、まだまだ夢半ばと笑い飛ばす。今は雪に埋もれたまだ見ぬ道が、桜や花桃が咲き誇る美しい遊歩道へと生まれ変わるのを期待しよう。

## まちチャレ情報

まちづくりチャレンジ事業の種類 **発展型**: ステップアップ / **体験型**: トライアル

ステップアップ	ステップアップ	ステップアップ	ステップアップ
<b>① 特定非営利活動法人 NPOホットライン信州</b> 助成額 <b>20万円</b> 事業名 信州ふれあい食堂 子どもたちが安心感と自己肯定感を抱ける居場所づくり。	<b>② ちび商人(あきんど)</b> 助成額 <b>40万円</b> 事業名 地元産の旬の「美味しい」を地元の皆さんに届けるプチマルシェ「ちび商人」 地元で取れた旬の野菜の消費拡大を図りながら、人と人のつながりを創出する。	<b>③ さつき会</b> 助成額 <b>40万円</b> 事業名 勝弦(かつづる)地域魅力アップ事業 勝弦地域の魅力を高め、観光資源の整備を行うことで観光客の回遊、誘致につなげる。	<b>④ 塩尻「学び」マネジメント</b> 助成額 <b>40万円</b> 事業名 自主的・協働的な学びを実践する「学び」のマネジメント 子どもたちの主体的・協働的な「学び」を実践し、人間関係づくりと学力向上につなげる。

塩尻市では、協働のまちづくり基金を活用して新たなまちづくりの担い手となる団体や活動を応援する補助金を交付しています。平成29年度まちづくりチャレンジ事業では、公開選考会を経て7事業が採択されています。

トライアル	トライアル	トライアル
<b>① おひさまの会</b> 助成額 <b>10万円</b> 事業名 おひさまの会「おはなしリズムの始まり始まり」 読み聞かせやパネルシアターやリズム等と触れ合う機会を増やし、子育ての環境として地域社会に貢献していく。	<b>② 子どものミカタプロジェクト</b> 助成額 <b>10万円</b> 事業名 子育てサポートコミュニティママのミカタカフェ 子育てをよりよいものになりたいと願う大人たちが、子どもや自分自身の「味方」になってサポートを行うこと。	<b>③ 宮下地区お助け隊</b> 助成額 <b>10万円</b> 事業名 歩け歩け運動の安全な専用道 ウォーキング用の遊歩道の整備による地域住民の健康増進及び地域間コミュニケーションの醸成。

